

支援部便り

令和3年度第1号

宮城県立気仙沼支援学校支援部

TEL 0226-24-3019

FAX 0226-24-4519

令和3年度も気仙沼支援学校の地域支援をどうぞよろしく申し上げます。

新年度が始まりました。年度末には、御多用のところ、地域のセンター的機能についてのアンケートに御回答いただき、誠にありがとうございました。結果がまとまりましたのでお届けいたします。ぜひ、全職員でお読みいただけるようお取り計らいください。

アンケート結果を念頭に、令和3年度も『気仙沼市・南三陸町地域のセンター的機能』の充実に努めたいと思います。今年度もどうぞよろしく願いいたします。

令和3年度支援部紹介と「ひまわり相談」について

今年度の地域支援は、主に3名で活動します。よろしく申し上げます。

菅原 友紀子, 佐藤 牧子, 三浦 絵里子

昨年度は、皆様の御協力により、安全に地域支援の活動を行うことができました。一方で、新型コロナウイルスの脅威はまだまだ続くと思われますので、本校支援部も活動の内容や方法を以下の通り実施したいと考えております。なお、感染が拡大するような場合は、臨機応変に対応させていただきますので、御承知おきください。

<電話による相談>

通常どおりお受けしています。24-3019にお電話いただき、「ひまわり相談担当者につないでください」とお話しください。

<来校による相談>

支援学校に来校いただいての相談については、通常どおり、感染対策をして、相談室または印刷室で行っています。

<訪問による相談>

訪問先の幼稚園・保育所・こども園等、小中学校、高等学校等の要請により、訪問しての相談等を行います。保育参観や授業参観につきましても同様に実施しますが、状況によって変更する場合がありますので御了承ください。

<オンライン相談>

※裏面を御覧ください。

<検査について>

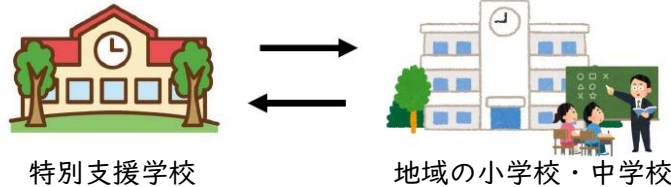
本校は検査機関ではないため、「検査をしてほしい」という御要望にはお応えしておりません。相談を進める中で、実態把握の一つとして実施することはあります。

なお、学校や幼稚園・保育所等から、保護者の方へ「ひまわり相談」を御紹介いただく場合は、「個別的教育支援計画」や「学校（幼稚園・保育所等）での様子」など、これまでの支援・指導の経緯が分かる資料を提供くださいますよう、お願い申し上げます。

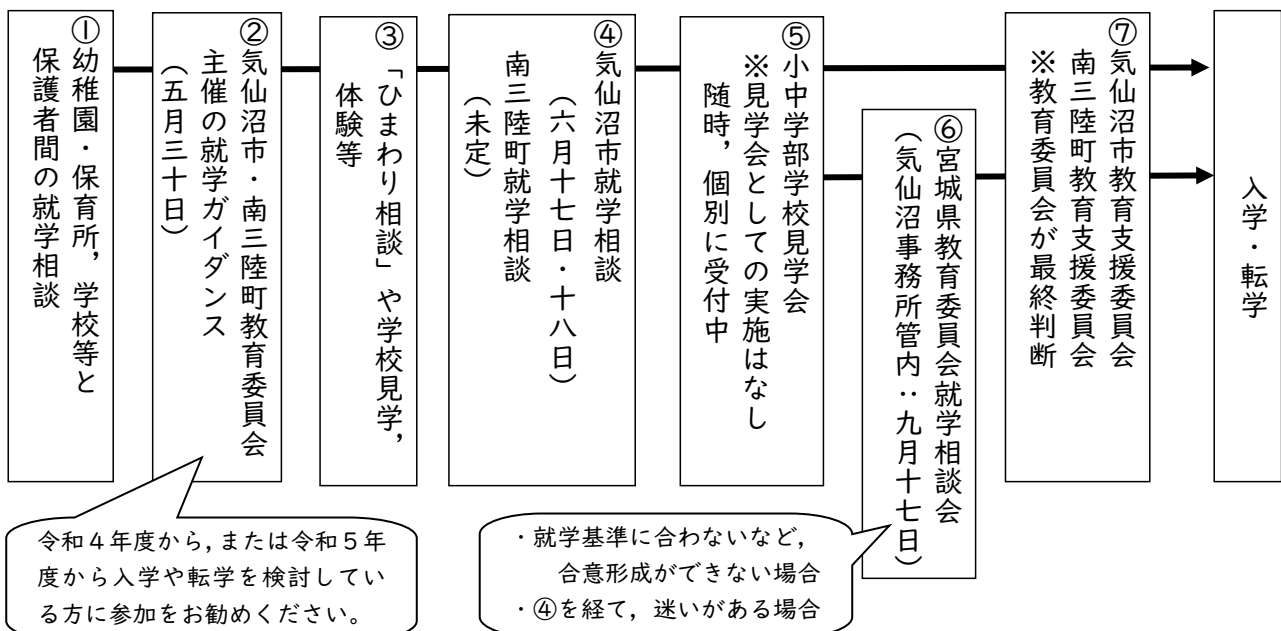
特別支援学校へ就学までの流れ（小中学部入学や転学の場合）

多様な学びの場が用意されるようになり、お子さんの実態に合わせた学びの場が柔軟に検討できる時代となりました。本校には、小学部への新入学児童だけでなく、地域の小・中学校からの転入学児童生徒も増えてきました。また、本校から地域の小学校に転学を検討している児童もおります。今後、これまで以上にインクルーシブ教育が進んでいくことが期待されます。

転入学を検討する上で、見学や体験が重視されていますので、御協力をいただくことが多くあるかと思われます。その際はどうぞよろしくお願いいたします。



来年度（または再来年度）、特別支援学校への入学、市町の特別支援学級から特別支援学校への転学を考えている方について、就学までの流れを簡単に御紹介します。



令和4年度から、または令和5年度から入学や転学を検討している方に参加をお勧めください。

・就学基準に合わないなど、合意形成ができない場合
・④を経て、迷いがある場合

気仙沼支援学校へ入学や転学を検討されている方には、本校の『ひまわり相談』をお勧めください。学校見学や説明をとおして、就学先を考えるのに必要な情報を提供させていただきます。

別紙：令和2年度『本校の地域支援に関するアンケート結果』より オンライン相談について

主に小中・高等学校で導入が可能かと思われました。今後、積極的に実施していきたいと思えます。想定している導入場面は以下のとおりです。

- 学校と保護者の教育相談の場面にオンラインで参加する。
（進行主体は学校で、支援部は情報提供や提案等を行う）
- 学校のケース会にオンラインで参加する。
- △ 保護者と支援学校の相談には向かないように思いますが、やむを得ない場合は検討します。



オンライン相談につきましては、実施の可否や日時等を電話で打ち合わせてから実施します。御協力お願いいたします。